

公明党土浦市議団

行政視察報告書

	茨城県猿島郡境町：自動運転バスの運行状況「BOLDLY」 栃木県芳賀郡益子町：日本遺産かさましこの概要について「益子町議会事務局」 「益子陶芸美術館」 茨城県笠間市：道の駅かさまの運営状況について
視察日	令和3年11月16日（火）
参加者名	吉田千鶴子 平石勝司 目黒英一

視察先 茨城県猿島郡境町

視察日 令和3年11月16日(火) 9:00~11:00

視察目的 境町の自動運転バスを視察し、新しいコミュニティ交通について学ぶ。

視察内容 自動運転バスの運行状況

説明者 BOLDLY株式会社 社長 佐治 友基 様

株式会社セネック 取締役副社長 和歌 良幸 様

境町について

境町は茨城県の南西部、関東平野のほぼ中央に位置しており、五霞町、千葉県野田市と利根川を挟んで相対し、水と緑の豊かな田園都市の景観を誇っています。雄大な利根川沿いには堤防を利用した利根渡良瀬サイクリングコースが設けられ、サイクリングやジョギング、ウォーキングなどを楽しむことができます。境河岸から見る富士山は、国土交通省の「関東の富士見百景」にも選定されています。町内には縄文時代などの古墳や貝塚などの古代の遺跡も多く残されており、歴史民俗資料館では、町の歴史や風習などを知ることができます。平成27年3月には圏央道境古河ICが開通し、県内・県外ともにアクセスが容易になりました

面積46.59平方キロメートル。人口23,966人、(令和3年11月1日現在)。

歴史・文化

境町は水と深い関わりを持ち、江戸時代には鬼怒川、利根川、江戸川などを利用した水運の拠点「境河岸」が作られ、江戸と奥州を結ぶ河岸の町として発展しました。

古くは縄文時代の頃から沿岸部には人が住んでいた形跡があり、その形跡は今でも住居跡や貝塚、古墳などの遺跡から伺い知ることができます。

観光案内

利根川境河川付近堤防は「富士山と城と川」を同時に楽しむ風景を撮影できる「関東の富士見百景」として、撮影スポットには多くの撮影客が集まります。

自然を体で楽しみたい場合は、利根・渡良瀬サイクリングコースで利根川の風景を楽しみながらサイクリングをすることができます。

休憩時には「道の駅さかい」で地ビールや地元の農産物を味わうのも良いでしょう。

歴史民俗資料館では、昔の境町を知る事ができる資料が多く展示されています。

境町の特産品

豊かな自然から育まれる農産物は、境町の特産品になっています。

【さしま茶】

日本で最初に海外へ輸出された日本茶として有名なお茶です。1859年の日米通航通称条約が発効された際にアメリカへ輸出されました。

【レタス】

境町はレタスの銘産地として、昭和59年に茨城県の「青果物銘柄産地育成総合推進事業」により銘柄産地として指定されています。

【ねぎ】

境町のねぎの生産量は茨城県内で第3位となっています。柔らかくて甘い味わいが特徴です。

【トマト】

夏娘(なつっこ)トマトが名産で、5月下旬から6月下旬をピークに出荷されています。糖度と酸味のバランスが良く美味しいトマトです。



所感

【吉田千鶴子議員】

茨城県猿島郡境町「自動運転バスの運行状況について」

自動運転バスは、エコであることや小回りが利きこれからの乗り物として本市でも活用できる地域等検討できるのではないかと考えます。

多くの方に愛されるバスの車体のビジュアルは大事であることやバスにはシートベルトの設置が必要ではないかと思いました。

- ・自動運転バスは、一人の従業員が乗りますがスタートボタンを押すだけ走行。360度方向の安全を確認しながら目的地を往復します。
- ・境町商店街を走る往復5kmのルートを最高18km/hで走行。
- ・バス停は、地域の商店街の皆様の善意によりお店の前を貸して頂くことができ、バス停が確定するまでの時間がかからず決定できた。
- ・自動運転バスの車体のデザインは、地元出身の内海聖史氏(うつみさとし)がデザインしたものや、公募したデザインの車体など異なるビジュアルの3台が運行されている。

【平石勝司議員】

茨城県猿島郡境町「自動運転バスの運行状況について」

境町では、全国の自治体初として自動運転バスを3台導入し、2020年11月より定時路線での運行を開始してから、約1年が経過した自動運転バスの運行状況などについて、視察を行った。自動運転バスの車両は、フランスのナビヤ製「ナビヤ・アルマ」。境町では3台購入し、5年間で5億2000万円の予算を計上し、BOLDLYが運行している。実際に試乗させていただいたが、想像していた以上にとてもスムーズな乗り心地であった。通常は、運行管理するオペレーターが1名乗車し、人や障害物にはセンサーが感知して、すぐに停止するため安心して乗車することができる。また、最高速度20kmで走っているとのことだが、大きな渋滞もなく、町民の理解も得ているとのことだった。今後の課題として、無料の運賃を5年以降どのようにしていくのか、さらに、法改正次第だが、人件費削減のための完全な無人運転化について気になるところである。今回、念願だった自動運転バスの取り組みを視察させていただき、大変参考になった。

【目黒英一議員】

茨城県猿島郡境町「自動運転バスの運行状況について」

2020年11月、境町では自治体初の事例として自動運転バスを3台導入し、定時・定路線での運行を始めた。しばらくは、町の中心部を通るルートで平日のみ運行していたが、21年8月より停留所の数を16カ所に増やして、土日の運行も開始しました。運賃は無料となっております。

境町から委託されて運営するのは、ソフトバンクの子会社であるBOLDLYで、車体はフランス製の自動運転電気バス「ナビヤ アルマ」を活用し、BOLDLYが運行及び、管理業務を担っております。



境町が自動運転バスの導入に踏み切ったのは、鉄道駅がなく路線バス網も不十分である境町の交通課題がありました。高齢ドライバーや自転車が多く、幅の狭い道路が点在するといった複雑な道路環境など地方都市によくある交通課題に対して、境町をロールモデルにしたいという思いもあったそうです。



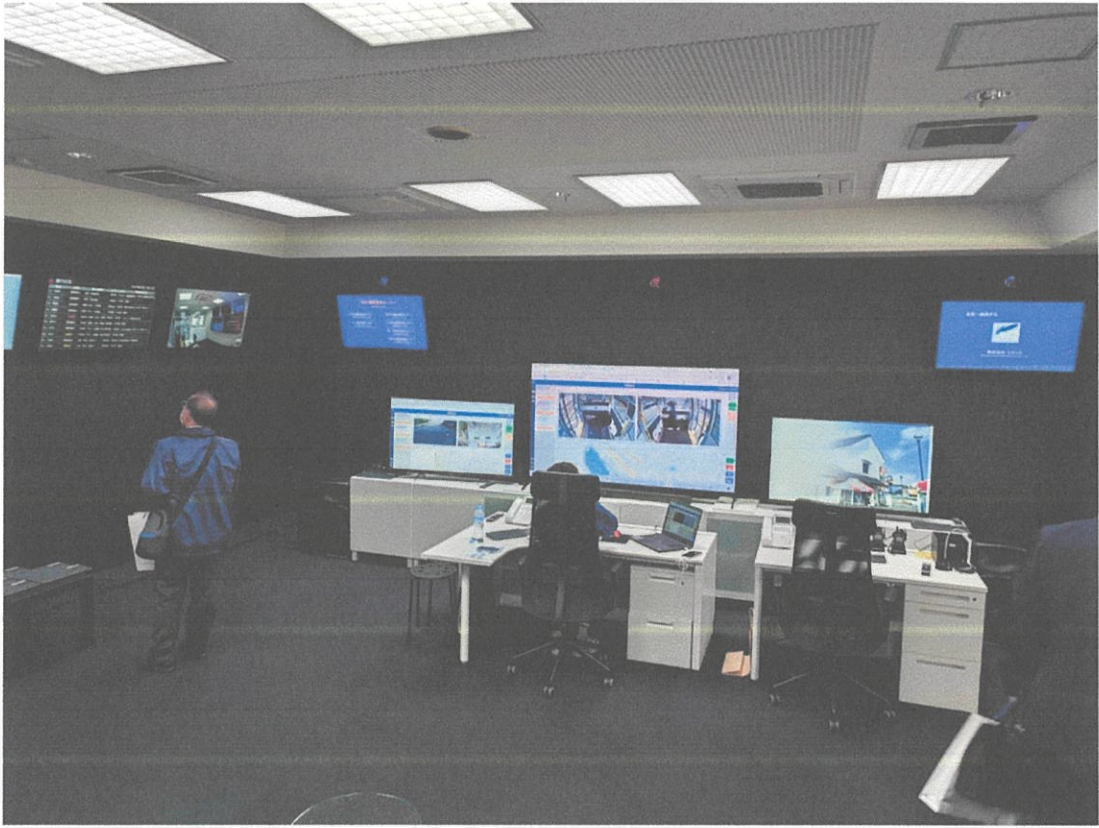
境町では、現時点で入手可能な世界最高技術水準の自動運転バス『ナビヤ アルマ』を3台導入し、『さかいアルマ』と名付け、そのうち2台の車体デザインは境町出身の現代美術アーティストであり、虎ノ門ヒルズの壁画も担当した内海聖史（うちうみ・さとし）さんが手掛けました。運行管理は、BOLDLYが開発したシステム『Dispatcher』（ディスパッチャー）を使用しています。

さかいアルマは、町役場、銀行、小学校など町の中心部を通る往復約6~8キロメートルのルートを午前9時25分~午後4時48分まで運行しております。主なルートは速度制限が時速30キロメートルのところ、さかいアルマは20キロメートルとしております。

車内のドライバーに加え、遠隔監視のオペレーターも1人存在しております。オペレーターは、急停止などのアラートが出た際の状況確認、乗客とのコミュニケーションなどを担当。例えば、後ろから車が追い越してきたり、道を曲がる際に対向車が勢いよく走ってきたり、他の車が接近したタイミング、あるいは人や自転車などがバスの前に飛び出してきたときなどは、急停車する。大体、1便に1回ほどの急停車が起きているそうです。

ボードリーは、将来的に無人運転となることを想定して、現状はドライバーと遠隔オペレーターのダブルチェックを実施しているそうです。

つちまるバスも公共交通不便地域に無人運転のバスとして導入出来れば、利便性が図れるかと思えます。



質疑応答

1. 住民への周知、理解の進展は？

自動運転バスの運行がスタートしたのを契機に路上駐車車両が減り、いくつかの停留所では店舗用駐車場の一部を無償提供してくれている。制限速度以下の20km/hで公道を走行しても大きなトラブルはございません。

2. 交通トラブル等での対応は？

バイクで現場へ直行しての対応や、自動運転バスの運行が不可能な場合、ハイエースでの対応を行います。

3. 車いすユーザーの方が利用するのは可能か？

スロープを装備しておりますので、そのままご乗車頂けます。

4. ペットを連れて乗車出来るのか？

ペットをお連れになる場合は、キャリーケースに入れて頂ければご乗車頂けます。

5. 今後検討している取り組みは？

完全無人が難しい時は、ボランティアによる案内人の乗車を検討しております。事業継続の為、自動運転バスの運行により、恩恵を受ける施設や事業者からの費用負担を検討しております。

視 察 先 栃木県芳賀郡益子町
視 察 日 令和3年11月16日(火) 13:00~14:00
視察目的 日本遺産かさましこの概要について
視察内容 副町長からの概要説明、益子陶芸美術館の見学
説 明 者 益子町副町長 横田 清泰 様
益子町議会議長 星野 壽男 様
教育厚生常任委員会委員長 大関 保 様
教育厚生常任委員会副委員長 小野澤 則子 様
議会事務局局長 近藤 修一 様

益子町について

関東平野の北に位置し、栃木県南東部に位置する芳賀郡の町。小貝川が町西側を北から南へと流れ、その河岸の平野部が町の大部分を占めています。町の南部は茨城県と県境を接し、丘陵地となっています。町内最高点は標高 533m の雨巻山。

益子焼の産地。町の花はヤマユリ、町の木はアカマツ、町の鳥はウグイス。それぞれ 1977 年に制定されました。

面積 89.40 平方キロメートル。人口 21,511 人、(令和 3 年 11 月 1 日現在)。

益子の歴史

益子には、室町、鎌倉まで遡るような貴重な文化財が町の中心を取り巻くように点在しています。関東甲信越四大古塔のひとつとして知られるのが、西明寺の三重の塔。1537年西明寺城主益子家宗の建立で、和洋唐様の様式をもっています。本堂は1394年益子勝直によって開扇供養が行われ、1701年の大改修で現在のかたちになりました。中備のかえる股には十二支が刻まれています。純唐様式の楼門も素晴らしいです。このほか、山の玄関口に位置する大倉神社(807年)と綱神社(1194年)、側柱が角柱内部が円柱で阿弥陀堂式の平面を構成する地藏院本堂(1504-1520)、大沢文庫を設けて名僧を輩出した円通寺(1402年)、日本で唯一、笑い閻魔大王を安置している閻魔堂(1714年)などがございます。

益子の歳時記

はっきりとした四季、ゆるやかな起伏の山、自然環境に恵まれた益子では、その風土を生かした農業や産業が営まれてきました。冬から春にはいちご狩り、初夏にはあじさい公園のあじさい、夏はブルーベリー狩り、秋には実った田んぼの眺めやいも堀りやりんご狩り、ぶどう狩りと季節ごとの味覚や景色が楽しめます。

日本遺産とは

地域の歴史的な魅力や特色を通じて文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定する制度です。ストーリーの構成要素となる魅力ある有形・無形の文化財を総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することで、地域活性化を図ることを目的としています。文化庁は、2020年までに100程度の認定を行うとしていたところ、2020年度までに104件が認定されました。

認定までの経緯

「日本遺産」認定を目指し、笠間市と益子町共同で「焼き物文化（笠間焼・益子焼）」を中心に捉えたストーリーを作成し、令和2年1月に文化庁に申請致しました。令和2年6月12日に認定が正式発表となりました。

笠間市・益子町の共同申請内容

タイトル

「かさましこ～兄弟産地が紡ぐ 焼き物物語～」

ストーリーの概要

東日本屈指の窯業地「かさましこ」（茨城県笠間市と栃木県益子町）は、窯業や統治者によって古代から同じ文化圏でした。江戸時代に入り別々の道を歩みますが、18世紀後半から再び、製陶を通じて繋がりが合った地域です。使い勝手のいい日用品を作り続けていたこの地は、存続の危機に陥る

と時代に合わせた革新に挑み、多様な作風を許容する産地へと変化しました。自由で大らかな環境が創造する者を惹きつけ、今では600名を超える陶芸家が活躍しています。美意識を追求し美しい生活造形を生み出す「かさましこ」は、訪れる人の五感をも刺激し、暮らしに寄り添う陶文化を醸成しているのです。

所感

【吉田千鶴子議員】

・栃木県芳賀郡益子町「日本遺産かさましこの概要について」

日本遺産かさましこは、令和2年度に東日本屈指の窯業地「かさましこ（笠間市と栃木県益子町）」の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定したものです。

日本遺産は、世界遺産が建物の評価であるのに対し、「重要文化財の持つストーリーを描く」ものであることから、本市の刀剣等の文化・伝統をストーリーとして語り、是非とも文化庁の認定を受けるべきではないかと考えます。

【平石勝司議員】

芳賀郡益子町「日本遺産かさましこの概要について」

益子町では、焼き物の産地である笠間市と益子町の2つの地域から生まれた兄弟産地が紡ぐ焼き物ストーリーを国が認定したものである。

お話のなかで、日本遺産認定の申請数はかなりの数があるが、認定に至る件数は非常に少ないこと、また、認定後も、見直しや再評価もあると伺い、大変な事業であると考えます。しかし、本市は、歴史と文化のまちであることから、日本遺産になるようなストーリーも多いのではないかと思います。そして、さらに、新たな観光や地域振興につながり、同時に市民が地元への愛着、アイデンティティー形成につながることも考えられることなどからも、本市においても調査、研究してはどうかと考えます。

【目黒英一議員】

芳賀郡益子町「日本遺産かさましこの概要について」

関東平野の北東部に位置し、ともに焼物の郷として発展してきた、笠間市と益子市が、笠間焼と益子焼を通して、それぞれ独自の歴史と伝統を踏まえつつ、現在に至ります。国内外の多くの作家が自由と創造性を求めて笠間や益子へ集まるようになりました。日本遺産認定に向けて笠間市と益子町が、兄弟産地として再び手を組むストーリーにとっても感動致しました。





ZR01



ZR01

質疑応答

1. 「かさましこ」のように笠間市・益子町で連携して行った事業はございますか？

日本遺産を知ってもらうためのシンポジウムを共同で年3~4回開催しております。
その際一般公開していない文化財の公開も行います。

2. 世界遺産つくばジオパークのように認定の見直しはございますか？

日本遺産は5年ごとに制度の見直しを行います。

3. 日本遺産を認定する件数は年間どの程度になるか？

相談件数は年間700件で、実際に判定するのが100件、そこから認定されるのが約20件になります。

4. 日本遺産認定の条件に文化財とそれに関わる物語は必要なのか。

文化財は必須で、文化庁が選考するにあたり、物語も選考のポイントになります。

視察先 茨城県笠間市

視察日 令和3年11月16日(火) 15:00~15:30

視察目的 道の駅かさまの運営状況について

視察内容 道の駅かさまでの見学

笠間市について

笠間市は関東地方の北東部、茨城県中部の県央地域に位置する市である。古くから日本三大稲荷に数えられる笠間稲荷神社の鳥居前町として、また笠間城の城下町として栄えてきた。最近では笠間焼の生産地として知られ、春や秋に行われる陶器市の時期には、多くの観光客で賑わう。

面積240.4平方キロメートル。人口70,306人、(令和2年10月1日現在)。

笠間稲荷神社

1350余年の歴史を誇り、日本三大稲荷の一つとされている「笠間稲荷神社」。江戸時代末期に建てられた御本殿は、彫刻が優れていることから、昭和63年に国の重要文化財に指定されています

笠間工芸の丘

笠間芸術の森公園内にあり、散歩やピクニックに最適です。施設内ではろくろ、手びねりを体験できる体験工房のほか、ペーパークラフトなど、様々なクラフトワーク体験ができます。

茨城県陶芸美術館

「伝統工芸と新しい造形美術」をテーマに、平成12年、誰もが気軽に立ち寄れる県立美術館として開館しました。国内外の優れた作品を鑑賞できる企画展や、茨城県ゆかりの文化勲章受章者 板谷波

山・重要無形文化財保持者 松井康成のコレクション展、笠間焼の歴史や技法を紹介するコーナーなど、笠間焼・陶芸の魅力を広く発信しています。

筑波海軍航空隊記念館

笠間市には、地下戦闘指揮所など、貴重な海軍航空隊史跡が今に残され、過去から未来へ目を向ける様々なきっかけを与えてくれる場所として多くの人々に感銘を与えています。ベストセラー小説をもとにした映画、『永遠の0』のロケ地にもなりました。

北山公園

山の起伏をそのままに活かした園内では、高さ 23m の展望台や長さ 161m のローラー滑り台が大人気です。オートキャンプ場やバーベキュー場(要予約)もあり、ゴールデンウィークや夏休みには多くの家族連れで賑います。

笠間の陶炎祭

200 名を超える作家や窯元が参加し、毎年 50 万人を超える観光客で賑わう笠間焼の一大陶器市。期間中は笠間焼の展示販売はもちろんのこと、「マイ猪口倶楽部展」などの企画展や作家が制作した「土面オークション」などが行われます。

悪態まつり

13人が白装束で天狗の格好をし、13天狗のほころにお供え物をして回ります。この時に悪態(悪口)を言い合い、天狗に邪魔されながらお供え物を奪い合うという変わったお祭りです。先を争ってお供え物を奪い、これを制止する青竹の音と参詣者の大声でわめく「ばかやろう」などの悪態が神聖静寂な境内にこだまします。

笠間いなり寿司

ご当地グルメ「笠間いなり寿司」。笠間といえば笠間稲荷神社、稲荷神社といえばキツネ、キツネといえば油揚げ、油揚げといえば「いなり寿司」。その特徴は、そば・くるみ・舞茸など様々な素材を使った『変わり種いなり寿司』という点。お店によって様々な種類のいなり寿司を提供していますので、それぞれのお気に入りを探すのもおすすめです。

笠間の栗

笠間市は、全国有数の栗産地となっており、温暖な気候と肥沃な大地に恵まれ、日本一と名高い栗が生産されていることで知られています。毎年秋には、人気の栗菓子の販売や栗の試食・販売、いが栗を使ったゲームが楽しめる「かさま新栗まつり」も開催されます。

【吉田千鶴子議員】

茨城県笠間市：道の駅かさまの運営状況について

道の駅かさまは、オープン間もない状況で多くの方が訪れています。

道の駅は、その地域の特色を盛り込むことや長期にわたり経営の安定を図ることが求められるものとの感想を持ちました。

【平石勝司議員】

茨城県笠間市：道の駅かさまの運営状況について

店舗前の大型と乗用車の駐車場で距離があるのは好印象でした。トイレが屋内、屋根付きの休み場もあり、過ごしやすいと思います。笠間周辺は観るものも割とあるので良い場所です。車中泊にも向きそうですが、この道の駅は国道 355 線バイパスに面しており、車道から道の駅に入ってくる迄の園内道路が短く、歩道の幅も狭いので子供の動きは要注意です

【目黒英一議員】

茨城県笠間市：道の駅かさまの運営状況について

道の駅かさまは、笠間のゲートウェイ（玄関口）をコンセプトに 笠間市の魅力を発信しております。笠間の栗の Café & Shop や、新鮮な農作物やお土産品がそろった直売所、地元食材を使用した料理が楽しめるフードコートがございます。数量限定のモンブランが午前中で売り切れるのは非常に残念です。次に来た時はレンタサイクルを利用したいと思います。

